

7. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (北陸)	◎	商店街（代表者）	来客数の動き	・週末を中心に観光客が週を追うごとに増加している。新型コロナウイルスによる自粛が長引いた影響で、久しぶりに勤務するスタッフの動きが鈍い。前年、売上を底上げたGo To Travelキャンペーンがないため、前年比80%で推移している。
	◎	コンビニ（店舗管理）	来客数の動き	・10月下旬より好調が続いている。新型コロナウイルス発生前と比較してもほぼ同等の来客数となっている。ただし、リベンジ消費的な特需の色合いが強い。
	◎	コンビニ（営業）	販売量の動き	・商品の販売単価が上がってきている。
	◎	その他小売 [ショッピングセンター]（統括）	来客数の動き	・来客数が回復してきており、外出やイベント催事の機会が増えてきていることから衣料品や服装品など物販の販売量が上がってきている。また、これまで厳しかった飲食店の利用者数も増えており、物販、非物販共に回復傾向となっている。
	◎	高級レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・宿泊と会食がセットになった旅行代理店のプランは県民割引と市の助成が併用でき、プランによっては個人の負担が3分の1になるため、家族や企業の宴会などで利用が殺到している。
	◎	一般レストラン（統括）	お客様の様子	・カニ、ブリなど北陸の冬の幸を求め、11月に入ってから旅行者や出張者が急激に増えている。また、県民割引、Go To Eatキャンペーンなど、自治体の施策もあり、駅周辺を中心に週末はホテルが満室で、平日でも飲食店のランチ、ディナータイム共にコロナ禍前を思わせるほど、人のにぎわいが戻ってきている。
	◎	観光型旅館（スタッフ）	来客数の動き	・10月1日より緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が解除され、8日から県民対象の宿泊割引がスタートしたが、前年比で総売上は50%、宿泊人数は47%、宿泊単価は104%で終わっている。
	◎	都市型ホテル（役員）	来客数の動き	・平日は修学旅行の団体客、週末は直前に予約した個人客の増加など、旅行目的の宿泊客に回復の兆しがみられ、前月より稼働率が10%以上アップしている。
	◎	タクシー運転手	来客数の動き	・11月に入り、新規感染者数が減少傾向で収束状態とみられることから、週末を中心に観光客がかなり増加している。緊急事態宣言前の状態に戻っており、タクシー利用が増加し売上が上がっている。
	○	商店街（代表者）	来客数の動き	・入込客は少し回復してきているが、飲食関係で団体客の動きはまだない。寒くなってきたため、冬物商材の動きを期待しているが、天候が今一つ良くないので人の動きも中途半端である。今月末に開催されるイベントによる波及効果に期待したい。
	○	一般小売店 [精肉]（店長）	来客数の動き	・週末の来客数が良くなってきており、平日の来客数がもう少し伸びればという感じである。
	○	一般小売店 [事務用品]（店長）	単価の動き	・購入する商品の単価が上がってきているようにみえる。
	○	一般小売店 [鮮魚]（役員）	販売量の動き	・11月に入って観光客がぐんと増えている。北陸新幹線の半額効果が顕著に出ているようである。さらに、県外ナンバーの車も多く、久しぶりに大型の観光バスも目に付くようになってきている。
	○	一般小売店 [書籍]（従業員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染が今のところ落ち着いており、今月の来客数は非常に多くなっている。
	○	百貨店（売場主任）	来客数の動き	・前年11月と比較すると日曜日が1日減り、食品物産催事の月がずれて当月の開催もなく、7月開業の大型商業施設の影響などマイナス要因があったにもかかわらず、店全体では前年比でプラス5%、前々年比でプラス9%の見通しである。インポートの高級時計や皮革雑貨が好調に推移し、全体をけん引している。

○	百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・感染が一段落し、冠婚葬祭に関連したギフト品やウェアなどの商品が動き始めている。また、Go To Eatキャンペーン食事券の利用が昼を中心に高まっており、レストランフロアが前年のプラス10%で推移している。
○	百貨店（販売担当）	お客様の様子	・県の大きな消費喚起策により消費者の購買意識が高まっている。通常来店しない若者客、しばらく来店しなかった年配客が新規感染者数の減少による安心感とあいまって多く来店している。この2年程度購入していない衣料品など、商品の買換えや新規購入が増加している。夜の飲食はまだ少ないが、小規模宴会の予約や、ランチは週末中心に多くの客が列をなして食事をしている光景があり、改善傾向がみられる。しかし、来月以降は消費喚起策が終了することや、現在も購入には慎重な行動となっているため、一時的な改善の可能性もある。
○	スーパー（総務担当）	お客様の様子	・新規感染者数が減少したことにより、買いだめは減少したものの、通常の買物風景が見られるようになっている。
○	スーパー（仕入担当）	競争相手の様子	・競合店が出店するなかで苦戦していたが、徐々に売上、来客数共に回復傾向である。電子決済のキャンペーンがあり、その影響は客の電子決済の使用割合や取引金額からも顕著に表れている。
○	コンビニ（店長）	販売量の動き	・新規感染者が出ていないため、平日、週末、祝日の全てで来客数や販売量がコロナ禍以前に戻りつつある。ここ2年では一番にぎわっており、売上も一番良い数字で推移している。ただし、コロナ禍前と比べるとやはり減少している。また、最低賃金の引上げによる経費増加を筆頭に大幅に経費が増えており、経営側では利益を出すのが極めて難しい状況である。
○	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少してきたことで、多少は明るい兆しが出ているが、リベンジ消費には程遠い状態である。
○	自動車備品販売店（役員）	お客様の様子	・集客は前年並みだが、客単価が上昇している。特に前年の豪雪による影響があり、冬用タイヤを始め冬季用品を購入する人が例年より早めに準備をしている。タイヤは新製品が出ているものの、単価は高くなっていない。今年は雪を心配して新しいタイヤに交換することを最優先し、安価な商品を求める人が多い。
○	一般レストラン（店長）	来客数の動き	・季節要因もあるが、昼はかなり人が戻っている。夜も人が戻りつつあるように見える。
○	観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・新規感染者数が落ち着き、県民割引や春から延期となっていた修学旅行生などで、来客数が例年の7割近くに回復している。
○	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・県民割引による個人旅行の申込みが増えてきている。
○	タクシー運転手	販売量の動き	・タクシー運転手1人当たりの売上はまずまず回復してきているが、新型コロナウイルスの影響でこの2年間で辞めた運転手の補充ができておらず、会社全体で売上は減少している。
○	テーマパーク（役員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてきたこともあり、個人旅行は徐々に増加している。団体旅行については修学旅行は回復してきているが、一般の団体ツアーやインバウンドが回復していないことから、全体としてみるとやや良くない状況である。
○	美容室（経営者）	来客数の動き	・地方では新規感染者数がかなり減少しているからか、ここ3か月の来客数は前年から5%程度アップしている。単価の高い商品も売れている。
○	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染に落ち着きがみられ、リモートではなく対面での打合せができる状況のなかで、客の動きも活発となり景気回復を感じている。
□	コンビニ（経営者）	単価の動き	・来客数が変わらない。

□	衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてきていることから、来客数は少しずつ戻りつつあるが、完全に収束したわけではないのでまだ力強さに欠ける。
□	衣料品専門店 (経営者)	単価の動き	・新型コロナウイルスの感染が少し落ち着いた感じがする。しかし、今までの経験から用心する意識が高まっており、消費に対してはまだ慎重である。
□	乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・依然として新車の入荷が不安定な状況が続いている。受注客の対応に追われる状態で、売上が苦戦している。
□	乗用車販売店 (役員)	販売量の動き	・自動車の減産が長引き、受注はあるものの売上に結び付かない状態が続いている。納期遅れによる客の対応に追われている。
□	その他専門店 [酒] (経営者)	販売量の動き	・G o T o E a tキャンペーンの期間が延期になって多少は売上が良くなるかと期待したが、何も変わらない状態である。
□	スナック (経営者)	来客数の動き	・当店の界隈では若い人が集団で行き交っており、居酒屋は忙しくなっているようである。しかし、当店の年配客は2年近くの自粛生活に慣れ、さらには病院への通院などもあり、なかなか来客数が戻らない。厳しい状態である。
□	通信会社 (役員)	販売量の動き	・3か月前と同様に、通信、放送共に契約者数が前年同期と同等レベルで推移している。
□	通信会社 (役員)	販売量の動き	・当社サービスについて新規契約者数、解約者数に大きな変動はなく、景気の変化は感じられない。
□	その他レジャー施設 [スポーツクラブ] (総支配人)	お客様の様子	・新規感染者数が0人の日が続くようになって、既存利用者の雰囲気は良くなってきているようだが、新規見込み客となるような人の動きは、まだまだ少なく限られている。冬の特別教室の募集を開始しているが、思ったような集客ができていない。
□	住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・住宅ローン控除の駆け込み需要でまずまずの受注を続けてきたが、この先は今までとは生活様式が大きく変わりそうで不安な点が多い。
▲	商店街 (代表者)	お客様の様子	・人出は戻りつつあるものの、財布のひもは固い。衣料品より雑貨を購入するというように客単価が下がっている。
▲	スーパー (店長)	来客数の動き	・スーパーマーケットは前年が良かった分、国内の新型コロナウイルスの感染が落ち着いている状況では前年比でみると厳しい。
▲	スーパー (統括)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況の落ち着きやG o T o E a tキャンペーン等で外食に目が向いている感じがする。特に週末の来客数がやや落ちている。
▲	家電量販店 (店長)	来客数の動き	・コロナ禍が落ち着き、巣籠り家電といわれるような商品の売上が悪い。
▲	家電量販店 (本部)	来客数の動き	・前年と比べて非常に厳しい現状である。来客数も単価も良くない状況が継続している。
▲	都市型ホテル (スタッフ)	販売量の動き	・宿泊部門と宴会部門の売上は前年を下回っている。レストラン部門はG o T o E a tキャンペーンの効果があり、売上は前年を上回っており、回復してきている。
▲	通信会社 (営業担当)	販売量の動き	・半導体不足で端末の納入が必要に間に合わず、予約した商品を渡せないため販売数が伸びない。
▲	パチンコ店 (経理)	販売量の動き	・売上が伸びてこず、逆に減少してきている。
▲	住宅販売会社 (営業)	来客数の動き	・来客数の低迷が続いている。毎年起こる冬枯れが前倒しになっている印象を受ける。
×	スーパー (店舗管理)	来客数の動き	・開店から16時頃までの来客数は前年並みだが、夕方以降は流動客となって分散しているため、来客数が減少している。
×	住関連専門店 (役員)	販売量の動き	・来客数の減少が顕著にみられると同時に、客当たりの単価も下がってきている。
◎	*	*	*
○	精密機械器具製造業 (役員)	取引先の様子	・ばらつきはあるものの、10~11月はこれまでに比べると大手取引先の売上が回復している気配がみえており、当社からの仕入れも増えつつある。

	○	輸送業（管理会計担当）	受注量や販売量の動き	・緊急事態宣言が解除され、11月に入って荷動きがやや戻ってきた感じがする。
	□	食品製造業（経営企画）	受注量や販売量の動き	・緊急事態宣言の解除、ワクチン接種の進展、新規感染者数の減少等による影響か、販売チャネル構成に変化がみられる。緊急事態宣言下で堅調だった市販用が失速気味の一方で業務用が伸長しており、なかでも不振を極めていた外食産業向けの回復が顕著である。
	□	繊維工業（総括）	受注価格や販売価格の動き	・受注は企業、用途によってばらつきがあるものの、全体としては回復基調にあり、新型コロナウイルス発生前の水準に回復している。ただし、原材料価格の高騰が収益を圧迫している。
	□	プラスチック製品製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・半導体不足等による自動車の減産や原油価格の高騰による輸送コストの増大により厳しい状況が続く。
	□	一般機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・前年同期比では大幅に良くなっているが、受注量は3か月前から落ち着き、横ばいとなっている。
	□	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・公共工事を主体としている同業他社では、コロナ禍でも経営状況が苦しいという話を聞かない。
	□	通信業（営業）	受注量や販売量の動き	・3か月前と比較して若干販売量は増加しているものの、大きな変化はみられない。補助金等起爆剤になるものがなく、横ばいの状況である。
	□	金融業（融資担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響が落ち着きつつある。取引先も本格的に営業活動を再開しており、ヒト、モノ、カネは動き出しているが、売上等の数字にはまだ反映されていない。
	□	不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・周囲からは、個人客が交渉に入るのを少し控えているという話を聞いている。また、ハウスメーカーの受注も減少している。
	□	司法書士	取引先の様子	・新規住宅や事務所、倉庫建築の依頼が多い一方、誰も利用しない建物や完全に負の不動産の相続についての相談も多い。
	▲	税理士（所長）	取引先の様子	・現在、最大の問題は半導体不足に伴い工事業や製造業に関係する部品材料の供給がほぼ止まっていることである。中小企業は、受注はあるが工事ができない、又は製造ができないという非常に厳しい状況に追い込まれている。この状態が更に2か月ほど続くという不安を覚えている。
	×	輸送業（役員）	それ以外	・運送業のため、原油高の影響が大きい。
雇用 関連 (北陸)	◎	—	—	—
	○	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・新規客からの求人数が増加傾向にある。
	○	新聞社〔求人広告〕（営業）	周辺企業の様子	・旅行、レジャー業界が動いてきている。ただし、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いていることが前提なので、一過性のものとみている。
	○	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・パート、アルバイトなど非正規の期間雇用ではあるが、業種を問わず求人広告に動きが出始めているようである。
	□	求人情報誌制作会社（編集者）	求人数の動き	・求人数に大きな変化はない。
	□	民間職業紹介機関（経営者）	求職者数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着くまでは急いで就業を望まない動きがあり、応募者が少ない。募集では給与アップに対応せざるを得ず、人の確保が厳しい状況である。
	▲	—	—	—
	×	—	—	—